

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 12 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700147		
法人名	株式会社 新風会		
事業所名	グループホーム 銀河		
所在地	愛媛県大洲市徳森1477 (電話) 0893-25-3785		
管理者	富永喜代香		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 10 月 18 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 13 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 9 月 10 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 3 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	16 人	常勤 10 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 6.6 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	240 円	昼食 380 円
	夕食	380 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 9 月 10 日事業所記入)

利用者人数	17 名	男性 4 名	女性 13 名
要介護 1	8 名	要介護 2	2 名
要介護 3	2 名	要介護 4	3 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 88 歳	最低 75 歳	最高 100 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは介護保険制度施行に伴い、運営法人の本社ビル内にグループホームのさきがけとして開設された。職員は基本理念をふまえてユニット毎に具体的目標を掲げ、明るい笑顔の中で日々のケアに努めている。年に2回、利用者と家族が食事会を持ち、楽しみを支援している。道路を挟んで連携先の医療機関があり、また運営者が新たに開業した診療所から月2回の往診を行うなど、利用者と家族にとって医療及び健康管理面でも安心できる。介護計画はきめ細かいアセスメントを基に家族の意見を取り入れ、ケアカンファレンスで職員が話し合い、個別のプランを

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

評価の結果を受けて、玄関周りや共用空間の居心地よい雰囲気づくり、時計や居室の表札の改善を行っている。長期的改善も視野に入れ、改善計画表を作成して計画的な取り組みが期待される。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

事前に勉強会を持ち職員全員で作成し、日々のケアの振り返りを行い、サービスの向上につなげる努力をしている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

市担当者、地域代表、他事業所管理者、利用者及びその家族の参加を得て、議題にホームの活動紹介、認知症について、評価の公表と改善への取り組みなどを取り上げ、参加者からの意見や要望をサービスの向上に活かしている。2か月ごとの定期的な開催により認知症への理解が徐々に得られ、また地域とのつながりが強まってきている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

苦情相談窓口を知らせ、ユニットごとの玄関に苦情箱とノートを設置して対応しているが、家族の訪問時に直接意見や要望が出されている。またその内容を会議で話し合い、運営に反映させている。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

公民館主催の文化祭、町内運動会等に参加し、祭り神輿や獅子舞をホームへ迎えたり、また、保育園児の訪問を受けるなど地域住民との交流に努めている。ホーム便りを自治会の回覧板と一緒に町内に回して、ホームの存在と利用者の暮らしぶりや活動を紹介している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム銀河

(ユニット名) 5階

記入者(管理者)
氏名 富永喜代香

評価完了日 平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「その人の生きてきた道、その人らしさを尊重し自立した生活が送れるよう支援していく」と言う介護理念をあげて日々対応している。	※	5階フロアでの理念をあげその人らしく支えるようにしている。地域の中での理念としては不十分であるので、話し合っ作っていききたい。
			(外部評価) 家庭的環境で利用者が明るく笑顔で自分らしく生活を続けることを目指してホーム独自の理念を作り上げているが、地域密着型サービスの役割が盛り込まれていない。	※	地域密着型サービスの意義を理解したうえで、理念の見直しについて検討することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) その人にとって大切な事は何か日々話し合いながら、理念を共有して取り組んでいる。		
			(外部評価) 毎月開催の会議、ケアカンファレンスで職員全員が基本理念を斉唱し、ホームが目指すサービスを共有している。理念をふまえて具体的に身近な目標をユニットそれぞれに掲げて実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で報告したり新聞を作り地域に回覧して理解してもらえるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などした際、声掛けや挨拶をしている。回覧板を回して頂き付き合いが出来るようにしている。		回って来た回覧板を隣に居られる方に利用者と一緒に届け、声を掛け合っている。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事（文化祭、祭りなど）に参加したり保育園児の訪問を受けるなど交流をしている。 (外部評価) 公民館主催の文化祭や町内運動会に参加し、祭り神輿や獅子舞をホームに受け入れたり、保育園児の訪問を受け入れ、地域との交流を図っている。また、ホーム便りを自治会の回覧板と一緒に回してホームの様子を知らせている。	※	地域行事の参加や気軽に立ち寄れるような交流会を今後も増やして地域密着に取り組みたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人としてヘルパー講習を開催しておりヘルパー2級の資格取得が出来るように取り組んでおり、人材育成に貢献している。		経験を積み重ね、認知症について等の勉強会ができるようにしていきたい。新聞に掲載して回覧した事はある。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義や目的を理解し職員全員で取り組み、改善があれば話し合っって見直しを行い改善できるようにしている。 (外部評価) 自己評価は事前に学習会を持ち意義を理解したうえで職員全員で作成している。外部評価は結果を受けて、玄関や共用空間の時計や季節を感じる雰囲気、各居室の表札を見やすくするなどの改善を行っているが、改善計画などの記録はしていない。	※ ※	今後も改善に向けて取り組み、運営推進会議などを利用して報告していきたい。 短期とともに長期での取り組みも視野に入れて改善計画表等を作成し、計画的に取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で評価の目的や方法取り組みについて説明、報告を行い意見や要望を取り入れてサービスの向上に活かしている。貴重な意見は取り入れている。 (外部評価) 市担当者、地域代表、他事業所管理者、利用者及びその家族などの参加を得て、活動紹介、認知症について、評価の公表などを取り上げ、参加者から出された意見や要望をサービスの向上に活かしている。2か月ごとの定期的な開催により地域での認知症への理解やホームの存在と活動への理解が深まっている。		新聞を作成する際、見やすいレイアウトにしたり意見や要望などが記入できるようにした。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 地域密着型として、市のサービス担当者会に参加して情報交換するようにしている。 (外部評価) 運営推進会議以外にも市の会議に出席したり、相談に行ったりするなど積極的に行き来するよう努めている。	※	市担当者との行き来する機会はまだ少ないほうである為いつでも相談出来るようにしたい
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加して学ぶ機会を持っている。ホーム内でも勉強会をする予定にしており必要時には活用出来るようにしたい。	※	職員間で周知出来ていない為、今後家族様などに説明出来るようにしていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を開催し資料を用いるなどして学ぶ機会を持ち職員間で周知に努めた。また、日頃から話し合い虐待防止の徹底に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分に説明し同意を得ている。また、契約前に事前に訪問や見学をして頂き理解、納得を図っている。		入居を迷っていたり本人の納得が得られない場合に事前に何度か見学に来て頂いた。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱やノートを設置し記入出来るようにしている。		利用者の意見や不満を聞き改善出来るよう職員でその都度話し合っている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に報告したり、月一回記録した物を郵送している。急変時にはその都度連絡をして報告し希望を聞いている。 (外部評価) 利用者の健康状態や金銭出納簿については面会時に渡すか郵送し、カラーのホーム便りとともに暮らしぶりを家族に定期的及び個々に合わせた報告をしている。		金銭の残高が分かるように郵送したりその都度連絡を入れている。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置やノートに記入出来るようにしている。外部へ連絡が出来るよう契約書にも記載している。 (外部評価) 玄関に苦情箱とノートを設置し、入居時に家族に苦情相談先を知らせて対応しているが、家族は訪問時に直接意見や要望を出しているため、それらを運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回の会議の内容についてや法人全体の事について報告し意見を聞いたり提案うをする機会を設けている。		業務カンファレンスを毎月開催して報告している。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時にも対応出来るようにお互いに話し合い交代したり職員を増やすなどして対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職等で人員の配置が変わる場合利用者に不安を与えないように配慮している。理由をしっかりと伝え送別会を行うなどをしている。 (外部評価) ここ1年間、異動は運営法人内の異動を含め3人と落ち着いている。異動や離職の際は利用者に混乱のないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会に参加できるように配慮し学べる機会を設け計画している。 (外部評価) 外部研修は県グループホーム連絡協議会に所属して研修を受講したり、その他各種研修会・セミナーに参加している。また、内部研修として、毎月1回の勉強会を2ユニット合同で持ち、年間計画を立てて学習し、資料とともに学習内容や感想を記録している。運営者は職員の介護福祉士資格取得奨励などにも積極的に取り組んでいる。		研修会で学んだ事を報告書にまとめ提出し育成への参考にしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議の構成員として互いに訪問して交流したり、市の研修会や協会の研修会に参加し情報を交換している。 (外部評価) 運営推進会議に出席を得ている同業者と、また研修会参加時にも情報交換をしているが、地域の同業者と相互の見学や交流はできていない。	※	地域の同業者とのネットワークづくりや勉強会、交流を通じて相互の質の向上を図り、さらに、事業所や地域全体のレベル向上を目指すことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 法人全体の忘年会や親睦会があり交流してストレスを軽減に努めている		ホーム内でも食事会をしたりいろんな話ができるようにしている。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 報告・連絡・相談を行いやりがいを持って取り組めるように努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人が安心して利用出来る様に見学をしたりコミュニケーションを取り希望や思いを傾聴し安心出来るように努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人・家族と十分に話し合い意向や希望を傾聴し見学を一緒にするなど配慮し安心して利用出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族や本人が必要としている希望や要望を聴き対応している。	※	地域包括センターや他の事業所のサービスの説明が出来るようにしたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族・本人に充分説明を行い事前に見学をして頂き雰囲気馴染めるようにしている。訪問の際には一緒にお茶を飲むなど配慮している。 (外部評価) 入居前に本人と家族にホームを見学してもらったり、職員が訪問するなどして、徐々に馴染みながらサービスの利用を始めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の得意分野が発揮出来るように声掛けや支援を行い一緒に楽しみながら感謝する気持ちを大切にしている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で相談したり話し合ったり利用者の得意なことを教えてもらうなどして、互いに支え合う関係づくりをしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の様子を面会の際に報告し、家族の希望を取り入れたり一緒に支えていくよう信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人にとって家族が一番であるという意識を持ち、本人の思いを考えながら、面会時には、外出や外泊を勧めてよい関係が築けるようにしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族よと過ごせるよう外泊をするなど交流ができるように支援している。年賀状や葉書を出すなどの支援につとめている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりの性格を理解し利用者の中に入ってより良い関係が保てるようにしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在ではサービス利用終了は亡くなって退所されるケースが多く付き合いは少ない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望や思いを表情や言動などから読み取り出来ることはないか話し合いよい生活が出来るようにしている。 (外部評価) 利用者の生活歴、表情やしぐさから一人ひとりの思いや希望を把握することに努め、また家族に相談したり、話し合っって利用者本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族の方の声や本人の何気ない会話から情報を集めてケアに繋がるようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 利用者の得意な事、不得意な事を把握してその日の体調に合わせて支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日常の様子や思いを利用者の視点に立って計画を立てているカンファレンスを毎月行い意見や家族の要望を取り入れケアに繋げている。 (外部評価) きめ細かいアセスメントを基にユニットごとに毎月ケアカンファレンス会議を持ち、職員全員でアイデアを出し合って検討し、家族の意見や思いも聞きながら、個別の介護計画を作成している。アセスメント、介護計画書、日々の介護記録などなどをシンプルに効率よくすることを検討している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) カンファレンス時や期間に合わせて見直しをしたり変化に応じて家族の意見や要望を取り入れるようにして作成している 市の職員からも助言を頂き取り組んでいる。 (外部評価) 毎月開催のケアカンファレンス会議で介護計画の遂行状況や日々の介護日誌などを話し合い、家族の意見を取り入れて定期的に見直しを行っている。また、利用者の変化に応じてその都度見直しを行い、現状とズレがない計画としている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に記録に記入して参考にしながら計画の見直しをしている。バイタルサインや食事摂取量なども個別に記録し職員で確認出来るようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人、家族の状況に応じて、通院など対応し満足が得られるように支援をしている。 (外部評価) 本人や家族の要望に応じて外泊や病院への送迎、買い物など柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防署による避難訓練や地域ボランティアによる訪問など資源を活用している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の商店や鮮魚店から食材を入れて頂いたり、利用者の希望や体調に応じて訪問理美容のサービスをりようしてもらっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 処遇困難時にどのように対応するか確認して、本人の支援に繋げている。	※	今後、権利擁護や成年後見制度を利用する利用者が増えてくると思われ情報を得たり対応出来るようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 毎日の状態を報告したり、状況に応じて、受診したり、往診にて対応している。 歯科など複数の医療機関と関係を結んでいる。 ----- (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にして、かかりつけ医の受診を支援している。利用者の健康状態を把握しながら、適切な医療を受けられるように支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 設立者が主治医であり適切な指示を仰ぐ事が出来る。 状態の報告や治療が受けられるようになっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 診療所の看護職員へ様子や状態を報告すると共に必要時には適切な助言をして頂いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 日頃の様子を情報提供し治療計画に参考にして頂いている。 今後の対応など相談や連携をとり十分に支援出来るように準備するようになっている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に関する指針を定め、契約時に説明を行うようにしている。状態の変化があるごとに、家族や本人の希望や気持ちに注意を払い支援している。 ----- (外部評価) 重度化及び看取り指針を作成し、利用契約時に本人と家族に説明を行い、主治医等と相談し、全員で方針を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人・家族の意向を踏まえ、安心した最期を迎えられるようその都度確認しながら取り組んでいる。 主治医と連携を図りすぐに対応出来るようにしている。		よりよくケアが出来るように終末期についての勉強会を行った。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人の情報や関係書類を手渡すと共に、新しい住まいでも継続して生活出来るようにしている。		本人・家族が環境が変わる事への不安やダメージを最小限にする為に移り住む前に何度か見学を行った。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報漏洩防止について誓約書交わし、プライバシーの保護を徹底している。又、さり気ない声掛けや対応に配慮するよう日頃から話し合っている。 (外部評価) 職員は入社時に「個人情報漏洩防止」の誓約書を提出し、声かけや対応にも十分配慮している。毎月開催のケアカンファレンス会議でもプライバシー確保の大切さについて話し合い、意識の向上を図っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 意思表示が困難な方にはジェスチャーや表情などから読み取り対応している。又、無理強いせず、提案を選べるように場面作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な一日の流れはあるが、その人のその日の体調やペースに合わせて配慮しながら対応している。 (外部評価) 一日の流れと一週間単位での生活パターンをふまえ、利用者の希望や思い、体調を大切にしながらゆったりと過ごせるように支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出張理容を利用しカットなど行うようにしている。着替えは声掛けや見守りを行いさり気なく対応し清潔に心がけている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者と一緒に調理や片付けをして楽しく食事が出来るようにしている。献立には季節の物や行事に合わせて計画している。 (外部評価) 利用者一人ひとりの好みを把握し、希望を取り入れながら、職員と利用者が一緒に調理をしたり、配膳、下膳など自主的に行ってもらい、食事が楽しみとなるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 職員は一人ひとりの嗜好物を理解しており様子や時間をみて対応している。	※	現在はタバコやお酒を楽しむ利用者はいないが、本人の希望に添えるように配慮したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) リハビリパンツやパットを使用している利用者にも時間や習慣を把握しトイレ誘導することによりトイレで排泄出来るように支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) いつでも入浴出来るように希望に合わせた支援をしている。入浴を拒む人に対しては、声掛けや工夫をしている。 (外部評価) 時間を決めず、いつでも入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には声かけを工夫し、入浴が困難な利用者には家族の了解のもと清拭を行うなど、それぞれに応じた配慮をしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく日中の活動を増やして安眠出来るようにしている。 寝付けない場合は暖かい飲み物を飲んでもらったり話をするなど配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意なことは一人ひとりの力を発揮してもらえるような場面を作っている。 趣味を活かし気晴らし出来るようにしている (外部評価) 調理の手伝い、食事の準備、後片付け、洗濯などを一緒にしたり、書道や詩吟の趣味を持つ利用者に腕前を披露してもらうなど、得意なことを活かせるよう支援している。		利用者が作成した物を来訪者にあげるなどして本人も喜び自信に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族よりお金を預かり管理をしている人でも買い物などの時には手渡して支払いする事を支援している。		家族よりお金を預かる際には預かり書を作成するようにしている。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日には散歩へ行ったりゴミ捨てに行くなど外の外気に触れるように支援している。また、家族の協力のもと外泊するなど対応している。 (外部評価) 少し離れたスーパーへ車で買い物に出かけている。また、ゴミ捨てや自治会の回覧板を届けに散歩を兼ねて出かけたり、1階のプランターの水遣りの機会を利用して戸外に出て外気に触れるよう工夫している。	※	ホームのあるビルの1階は駐車場を兼ねた広い空間なので、外の景色や空気に触れる機会をより増やすために活用する工夫等について検討してみることを期待する。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節感を味わえる場所や身近なところでのイベントに参加できるようにしている。	※	個別に外出する事が少ないので、勤務の調整をしながら実現できるようにしたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	(自己評価) 電話のとりつきや年賀状、葉書を出せるよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に来訪出きるよう雰囲気作りを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組む職員間で意識共有している		身体拘束や虐待について正しい理解が得られるよう勉強会を行った。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 外出しそうな様子を察知すればさりげない声掛けで対応し安全面に注意して一緒についていくなどの配慮をしている。 (外部評価) 日中は鍵をかけていない。利用者の様子を見守り、出かける気配がある時は声をかけ、一緒に出かけるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子を把握しながらフロアで職員が見守りをしている。夜間も定期的に巡回し安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に応じて対応し保管すべきものは管理するようにしている。 利用者が使用する場合には注意をしケースに合わせた対応をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを用いて職員の共有意識を図っている。万が一事故が発生した場合には、速やかに報告書を作成し原因や今後の対応策について検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作成して対応出来るようにしている。 消防署の協力を得て救急手当てや蘇生術の研修を実施し職員が対応出来るようにしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成して対応出来るようにしている。 消防署の協力を得て年2回の訓練を実施して意識を高めている。 (外部評価) 消防署の協力のもと、年2回の防火・避難訓練を行っている。緊急連絡網と避難用マニュアルを作成し、夜間想定自主防災訓練を行っている。また、防災担当者を中心に防災ミーティングを毎月持ち、避難経路の確認や備蓄等について検討している。しかし、住民の協力は得られていない。	※	ミーティングを月1回開いて防災への意識を高めている。 運営推進会議等を活用し、地域代表等を通じて地域住民の協力が得られるよう働きかけることが求められる。非常階段にはプランターを置かないことが望ましい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 契約時や面会の際に家族に説明し理解が得られるように努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルサインをチェックし体調の変化、異変の発見に努めている。 異変時には主治医に連絡し指示を仰いでいる。又、診療所から連絡が入り状態を報告し情報を共有している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医や看護師と連携をとりながら説明を受けている。 薬についてミーティングの際に確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 朝食前の冷水補給やバナナ、牛乳などを取り入れて便秘予防に取り組んでいる。 適度な運動も取り入れている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨きの声掛けを徹底している。口臭のひどい場合や自力で出来ない場合には、うがい薬を使用するなどして清潔保持に努めている。		週3回は義歯洗浄剤を使用し義歯の取り扱いに留意している。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個別に合わせ食事や水分摂取状況をチェック表に記録し職員で共有している。	※	摂取量が少ない場合には主治医の指示を仰ぎ補助食品で補うようにしてバランスが取れるようにしている。栄養士のアドバイスを受けるに至っていない為今後検討したい。
			(外部評価) 食事・水分摂取量を把握し、水分摂取が困難な利用者については記録を残し、機会を捉えて必要量が確保できるよう配慮している。毎日の献立は職員が立て、専門家のチェックは受けていない。	※	栄養バランスや適切なカロリー摂取のためにも栄養士など専門家のチェックを定期的に受けることが望ましい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成して対応出来るようにしている。又、毎年利用者、職員はインフルエンザを予防接種を受けている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材は新鮮な物を届けて頂いている。冷蔵庫の中の物も早めに処分するなど管理に努めている。 ふきんなども漂白剤を使用して清潔に取り扱うようにしている。	※	マニュアルはあるが全員が周知しているとは言えない為、勉強会をするなど感染予防を徹底したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口にはプランターを置いて季節の生花を生けたり植えたりしている。 玄関には手作りの表札を掛け工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の生花や馴染みの音楽をかけるなど工夫している。 フロアの飾りつけなども利用者と一緒に作り季節感を味わえるようにしている。 (外部評価) 窓を多く取り、明るく心地よい自然の風が入り、居心地良い空間である。各ユニットの入口や居間には季節の花や利用者の写真・作品を掲示しており親しみやすい。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアにソファーや畳のスペースがあり利用者同士くつろげる空間を作っている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人の使用していたダンスや鏡台を置いたり趣味の物を飾るなど居心地よく過ごせるように工夫している。 (外部評価) 鏡台や箆箆を持ち込んだり、趣味を活かした掛け軸・手芸品や家族の写真などを貼り、その人らしい部屋づくりを工夫している。2ユニットとも2人部屋があり、トラブルもまれにあるが、その都度職員が工夫して対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 随時窓を開け換気を行い温度調節しながら対応している。換気扇や消臭剤を利用して悪臭が出ないように配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者に合わせ、手すりや段差のないフロアーになっている 内部を活かして安全な環境を作り自立出来るよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとり関わり本人の力や何が分かりにくいかわ職員で話し合い、一緒に行う事で力を取り戻せるようにしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 鉢やプランターを利用し楽しめるようにしている。		建物上ベランダが無くすぐ前は交通量の多い道路である為困難な事もあるが、出来るスペースで少しでも土いじり出来るよう試みている。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	散歩に出たり希望に応じて対応している。意思表示できない利用者もおられ、意向を聞く事が困難な場合もあるが、表情を読み取ったり家族の意向を聞くようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にお茶を飲んだり会話をする時間を持つように心がけている。介護度が高く介護に要する時間が多くなりゆっくりする時間が取れない事もあるが工夫して対応するようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室で休んだりフロアでテレビを見たり一人ひとりのペースで過ごせるよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声掛けや対応をで表情を読み取ったり言動で変化を得られるを得られるように支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物などを行い対応している。見守りをして自由に出来るようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	バイタルサインチェックを毎日行い健康管理を行い体調の変化を主治医に報告し指示を仰いでいる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりにあった支援を行い安心して暮らせるように努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には様子を報告するようにしている。コミュニケーションを取り話を傾聴して信頼関係が保てるようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	運営推進会議の構成員と一緒に茶会をするなど地域の人と交流しているが、馴染みの人が訪ねて来る人はまだ少ないと思う。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通してグループホームがどんな所であるか又、協力したりさせて頂くようになり浸透してきたと思う。
98	職員は、生き生きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりがやりがいを持ち生き生きと働いている。資格取得に向けて取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一緒に過ごす事でいつも笑顔が絶えず表情も良い
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	その都度説明や対応で理解して頂いていると思う。希望など随時対応している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- * 日々の様子を撮った写真を掲載した新聞を地域に回覧して頂いている。
- * 利用者の残存能力を活かしレクリエーションやリハビリ体操に取り組んでいる。
- * 勉強会を月1回取り入れ資格取得に向けて知識を身につけている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム銀河

(ユニット名)

3階

記入者(管理者)

氏名

田渕正子

評価完了日

平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 独自の理念を作りその人らしく暮らせるように取り組んでいる。 (外部評価) 家庭的環境で利用者が明るく笑顔で自分らしく生活を続けることを目指してホーム独自の理念を作り上げているが、地域密着型サービスの役割が盛り込まれていない。	※	フローアでの理念を作り取り組んでいる。 地域密着型サービスの意義を理解したうえで、理念の見直しについて検討することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 大切な事を日々話し合い理念に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 毎月開催の会議、ケアカンファレンスで職員全員が基本理念を斉唱し、ホームが目指すサービスを共有している。理念をふまえて具体的に身近な目標をユニットそれぞれに掲げて実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で報告している。新聞を回覧して地域の方にも見て頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などをした時に挨拶している。回覧板を廻して頂き付き合いが出来るようにしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域に行事に参加し地元の方と交流している。 (外部評価) 公民館主催の文化祭や町内運動会に参加し、祭り神輿や獅子舞をホームに受け入れたり、保育園児の訪問を受け入れ、地域との交流を図っている。また、ホーム便りを自治会の回覧板と一緒に回してホームの様子を知らせている。		理念を具体化し意識して取り組んで行きたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 会社全体としてヘルパー講習を開催しておりヘルパー2級の資格取得に取り組んでいる。		地域の方に来ていただき認知症の勉強会が出来るようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価後職員と話し合い改善出来るよう取り組み評価の意義や目的を理解した。 (外部評価) 自己評価は事前に学習会を持ち意義を理解したうえで職員全員で作成している。外部評価は結果を受けて、玄関や共用空間の時計や季節を感じる雰囲気、各居室の表札を見やすくするなどの改善を行っているが、改善計画などの記録はしていない。	※	短期とともに長期での取り組みも視野に入れて改善計画表等を作成し、計画的に取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議の内容を記録し職員で理解している。意見をサービス向上に活かしている。 (外部評価) 市担当者、地域代表、他事業所管理者、利用者及びその家族などの参加を得て、活動紹介、認知症について、評価の公表などを取り上げ、参加者から出された意見や要望をサービスの向上に活かしている。2か月ごとの定期的な開催により地域での認知症への理解やホームの存在と活動への理解が深まっている。	※	運営推進会議ででた意見を活かし実行した。出来ていない点は改善出来るようにしていきたい
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者があり参加して情報交換をしている。 (外部評価) 運営推進会議以外にも市の会議に出席したり、相談に行ったりするなど積極的に行き来するよう努めている。	※	行き来する機会が少ないので何時でも相談出来るようにしたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加し学びかきをもっている。ホーム内でも勉強会を開催する予定にしており、必要になれば活用したい		必要な方には説明を行っている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を開いて職員で周知に努めた。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分に説明を行い同意を得ている。 契約前に事前に訪問や見学をし理解、納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置して意見を入れてもらうようにしている。	※	意見が出れば改善したい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 定期的に郵送して報告している。 又、その都度報告している。 (外部評価) 利用者の健康状態や金銭出納簿については面会時に渡すか郵送し、カラーのホーム便りとともに暮らしぶりを家族に定期的及び個々に合わせた報告をしている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置して意見を入れてもらうようにしている。 意見が出れば報告して解決するようにしている。 (外部評価) 玄関に苦情箱とノートを設置し、入居時に家族に苦情相談先を知らせて対応しているが、家族は訪問時に直接意見や要望を出しているため、それらを運営に反映させている。		面会の際に話をしてそれに応じた対応をしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回のカンファレンスで報告したりその都度意見や提案をきくようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時や状況に合わせて対応出来るように話し合い調整している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職により変る場合には利用者には不安を与えないように配慮している。 (外部評価) ここ1年間、異動は運営法人内の異動を含め3人と落ち着いている。異動や離職の際は利用者には混乱のないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や勉強会に参加出来るように機会を設けスキル向上に努めている。 (外部評価) 外部研修は県グループホーム連絡協議会に所属して研修を受講したり、その他各種研修会・セミナーに参加している。また、内部研修として、毎月1回の勉強会を2ユニット合同で持ち、年間計画を立てて学習し、資料とともに学習内容や感想を記録している。運営者は職員の介護福祉士資格取得奨励などにも積極的に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市の研修会や協会の研修会に参加して情報交換をして交流をはかっている。		
			(外部評価) 運営推進会議に出席を得ている同業者と、また研修会参加時にも情報交換をしているが、地域の同業者と相互の見学や交流はできていない。	※	地域の同業者とのネットワークづくりや勉強会、交流を通じて相互の質の向上を図り、さらに、事業所や地域全体のレベル向上を目指すことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 会社全体の忘年会があり息抜き出来るようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 報告・連絡などを行い各自やりがいを持ち働けるようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 安心して利用できるようコミュニケーションをとって希望を聞くようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族から希望や要望を傾聴して信頼関係を築くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族が必要としている物を傾聴し対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と本人に十分に説明を行い事前に見学をしたり訪問するなどして対応している。 (外部評価) 入居前に本人と家族にホームを見学してもらったり、職員が訪問するなどして、徐々に馴染みながらサービスの利用を始めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に作業したり思いや希望を取り入れて支えていく関係を築いている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で相談したり話し合ったり利用者の得意なことを教えてもらうなどして、互いに支え合う関係づくりをしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の思いや希望を取り入れて支えていく関係を築いている。	※	日々の様子を報告するなど機会を増やして行きたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には外泊や外出を勧めるなどより良い関係が築けるように支援している。		一緒に過ごす時間が多く取れるように支援して行きたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の協力を得て外出や外泊をして出会いの場を作りたい。	※	家族の方から、馴染みの場所や好きな事を聞いて理解し支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 孤立しないよう見守りや関わりを持ち支え合えるよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 死亡されて契約終了する事があり継続的な関わりは少ない	※	今後、対象者があれば継続出来るよう工夫したい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望を聞いてレクリエーションや日常の活動を行っている。 (外部評価) 利用者の生活歴、表情やしぐさから一人ひとりの思いや希望を把握することに努め、また家族に相談したり、話し合っって利用者本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族の方が来られた時などに聞いて把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人の出来る事、出来ない事を把握しケアに繋げている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスを毎月行い計画を立てている。 (外部評価) きめ細かいアセスメントを基にユニットごとに毎月ケアカンファレンス会議を持ち、職員全員でアイデアを出し合って検討し、家族の意見や思いも聞きながら、個別の介護計画を作成している。アセスメント、介護計画書、日々の介護記録などなどをシンプルに効率よくすることを検討している。	※	家族の意見を聞いて計画に役立てて行きたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間に合わせて計画を見直し職員と話合っている。 (外部評価) 毎月開催のケアカンファレンス会議で介護計画の遂行状況や日々の介護日誌などを話し合い、家族の意見を取り入れて定期的に見直しを行っている。また、利用者の変化に応じてその都度見直しを行い、現状とズレがない計画としている。	※	家族に方にももっと意見を出して頂けるようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録にしており介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の状況に応じて通院介助など満足が得られるよう支援している。 (外部評価) 本人や家族の要望に応じて外泊や病院への送迎、買い物など柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員の方には運営推進会議に出席していただいている。 ボランティアの訪問など活用している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の希望や体調に合わせて訪問理美容のサービスを利用してもらっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 市のサービス担当者会があり参加して情報交換をしている。	※	今後、地域包括センターと協力して支援に繋がりたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 状況に応じて受診をしたり往診したり複数の医療機関とも連携をしている。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にして、かかりつけ医の受診を支援している。利用者の健康状態を把握しながら、適切な医療を受けられるように支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 設立者が主治医でありいつでも指示を仰ぐ事ができる。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 診療所の看護師とも相談報告をしており適切な助言を頂いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 日頃の様子を記入した物で情報提供している。いつでも相談出来るよう共有している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に関する指針をまとめたものを契約時に説明すると共に、状態の変化があればその都度対応出来るようにしている。 (外部評価) 重度化及び看取り指針を作成し、利用契約時に本人と家族に説明を行い、主治医等と相談し、全員で方針を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人・家族の意向を聞くなどして安心して暮らせるように検討や準備をして対応している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報提供をすると共に見学や訪問をしてダメージを防ぐようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報など大切なことは、同意や契約書を交わし取り扱いに留意している。 (外部評価) 職員は入社時に「個人情報漏洩防止」の誓約書を提出し、声かけや対応にも十分配慮している。毎月開催のケアカンファレンス会議でもプライバシー確保の大切さについて話し合い、意識の向上を図っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日常生活の中で利用者のことを理解し代弁している。	※	自己決定出来るような支援をしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な一日の日課はあるがその人の体調に合わせて支援している。 (外部評価) 一日の流れと一週間単位での生活パターンをふまえ、利用者の希望や思い、体調を大切にしながらゆったりと過ごせるように支援している。	※	入浴などに時間がかかり外出の機会が取れないため改善したい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 2ヶ月に1回程度、出張理美容を利用している。身だしなみは季節に合った物を着て頂いている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者と一緒に準備や片付けをしている。 (外部評価) 利用者一人ひとりの好みを把握し、希望を取り入れながら、職員と利用者が一緒に調理をしたり、配膳、下膳など自主的に行ってもらい、食事が楽しみとなるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつは手作りの物や購入して物を楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し時間をみて声掛けをしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的な一日の流れはあるが、希望に合わせて対応するようにしている。 (外部評価) 時間を決めず、いつでも入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には声かけを工夫し、入浴が困難な利用者には家族の了解のもと清拭を行うなど、それぞれに応じた配慮をしている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 安眠や休息は自由に出来るようになっている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合った役割が出来るよう支援し、支援の仕方もしょこつ変っていくようにしています。 (外部評価) 調理の手伝い、食事の準備、後片付け、洗濯などを一緒にしたり、書道や詩吟の趣味を持つ利用者に腕前を披露してもらうなど、得意なことを活かせるよう支援している。	※	一人ひとりの出来る事出来ない事の見極めをして出来るようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物時にお金を手渡し支払いの支援をしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 希望に応じて外に出られる時間を増やして活きたい	※	一日一回外に出られるように対応したい
			(外部評価) 少し離れたスーパーへ車で買い物に出かけている。また、ゴミ捨てや自治会の回覧板を届けに散歩を兼ねて出かけたり、1階のプランターの水遣りの機会を利用して戸外に出て外気に触れるよう工夫している。	※	ホームのあるビルの1階は駐車場を兼ねた広い空間なので、外の景色や空気に触れる機会をより増やすために活用する工夫等について検討してみることを期待する。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の方と一緒に外出出来るように声掛けをして共に出かけられるように支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状を出してやり取り出来るようにしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問して頂いた時には居室にてゆっくりと過ごして頂けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないように取り組んでいる。		やむを得ず必要な場合には家族に説明し同意を得ている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵を掛けない支援をしている。 (外部評価) 日中は鍵をかけていない。利用者の様子を見守り、出かける気配がある時は声をかけ、一緒に出かけるようにしている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子を把握し安全に過ごせるよう見守りをしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に応じて対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを用いてその都度記入し事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力のもと救急手当での講習を定期的に受けている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力で避難訓練を実施し避難方法を身につけている。 (外部評価) 消防署の協力のもと、年2回の防火・避難訓練を行っている。緊急連絡網と避難用マニュアルを作成し、夜間想定自主防災訓練を行っている。また、防災担当者を中心に防災ミーティングを毎月持ち、避難経路の確認や備蓄等について検討している。しかし、住民の協力は得られていない。	※	運営推進会議等を活用し、地域代表等を通じて地域住民の協力が得られるよう働きかけることが求められる。非常階段にはプランターを置かないことが望ましい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 契約時や面会の際に説明して暮らしを大切にしたい対応をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化があった場合にはバイタルチェックし施設長、主治医に連絡し往診に来て頂いている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医に説明を受け確認しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日運動を取り入れ便秘の解消に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声掛けにより歯磨きの習慣がついている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合った食事量を考え対応している。摂取量を記録し職員で共有している。 (外部評価) 食事・水分摂取量を把握し、水分摂取が困難な利用者については記録を残し、機会を捉えて必要量が確保できるよう配慮している。毎日の献立は職員が立て、専門家のチェックは受けていない。	※	栄養バランスや適切なカロリー摂取のためにも栄養士など専門家のチェックを定期的に受けることが望ましい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成している。 毎年インフルエンザの予防注射を行い感染防止に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材は新鮮な物を届けて頂いている。 食材は期限や鮮度を確認して衛生管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関に花を植えて季節感が味わえるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花や壁画を飾るなど居心地の良い空間になっている。 (外部評価) 窓を多く取り、明るく心地よい自然の風が入り、居心地良い空間である。各ユニットの入口や居間には季節の花や利用者の写真・作品を掲示しており親しみやすい。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや畳のスペースがあり自由に過ごす事が出来るようになっている。	※	畳のスペースをもっと有効利用出来るよう工夫したい
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族様の協力により馴染みの物を持参して頂きより良い生活が出来るよう工夫している。 (外部評価) 鏡台や箆箆を持ち込んだり、趣味を活かした掛け軸・手芸品や家族の写真などを貼り、その人らしい部屋づくりを工夫している。2ユニットとも2人部屋があり、トラブルもまれにあるが、その都度職員が工夫して対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) いつも換気扇をつけています。 温度調節は状況に応じて対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) フロアには手すりがついており安全に生活で来るようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一緒にする事で混乱のないように自立して暮らせるように支援している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) プランターの水やりや草むしりなど行い外の空気に触れるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	本人の希望や意向を取り入れるようにし対応している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) ③ たまにある 4 ほとんどない	一緒に過ごす時間を持つように心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	フロアで過ごしたり居室で休息が取れるよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声掛けや対応に細心の注意を払い対応している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	一緒に出かけるようにしているが行きたいところへ出かけることが少ない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	バイタルチェックを行い健康管理に注意を払っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりに合わせ状況に応じて対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には日々の生活を説明して希望や要望を傾聴し信頼関係を持つようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに ④ ほとんどない	運営推進会議構成員の方の訪問はあるが馴染みの人が訪ねることは少ない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議によりホームがどんどこであるか知るきっかけになり広まり始めた。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	やりがいを持って資格取得に取り組み技量を身につけている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	穏やかにゆったりと生活している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	希望や要望をその都度聴き協力が得られている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

* 毎日の体操や歌の合唱をして利用者に関わりを持っている。

* 診療所があり医療面での対応がすぐに出来る。